

令和2年度 愛南町社会福祉協議会 事業報告書

I. 総 括

高齢者の一人暮らしの増加や、人間関係の希薄化等により地域のコミュニティ機能が著しく低下してきています。さらに、新型コロナウイルス感染症長期化の影響による収入の減少や雇止め、失業により、多くの方々が困窮状態に陥っています。また生活困窮による社会的孤立、自殺者の増加など、地域が抱える社会問題はますます深刻なものとなっており、かつて経験したことのない状況下で、多様な支援が求められています。

このような状況のもと、社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核を担う組織として、社協がこれまで育んできたネットワークを生かしながら、誰もが排除されることなく安心して暮らし続けることができる福祉のまちづくりの実現を目指し、社協事業に取り組んで参りました。

総合相談事業の取組みとして、生活困窮の方への相談支援の強化、食糧支援、就労支援や、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少された方などへの生活福祉資金の貸し付けなど、さまざまな相談に対応してきました。

また、社会福祉協議会本来の目的である地域福祉活動として地域の活性化を目的とした小地域での拠点づくりへの取組みや、福祉教育や見守り活動の推進、生活支援体制整備等、感染防止に配慮しながら、地域へ出向き、地域のニーズを把握し、住民の皆さんと共に考える活動に取り組んで参りました。

在宅福祉事業においては、新型コロナウイルス感染への不安がある中、利用者・家族・サービスに携わる職員とその家族の動向や健康状態を常に把握し、細かな情報収集のもと、夫々個別の状況に応じて感染予防策をとりました。結果として、今まで通り利用者の自立支援と介護者の負担軽減が図れ、利用者が住み慣れた地域で安心した生活を送るための支援が行えました。

今後も愛南町社会福祉協議会が地域住民の皆様に支えられ、信頼され、支持されるように「地域福祉事業」「在宅福祉事業」の更なる充実に向けて取り組んで参ります。

II. 重点項目

< 1 > 小地域での住民のつながり、支え合い活動の推進

感染症対策を行ったうえで、小地域での地域懇話会を開催し、社協と地域住民の皆さんと地域課題の解決に向けて考えることができた。

< 2 > 権利擁護事業の拡充

福祉サービス利用援助事業や成年後見制度を推進し、判断能力が十分でない方に対して預貯金の管理や日常生活での契約等、その方の不利益が生じないように関係機関と連携しながら支援をおこなった。

< 3 > 生活困窮者への支援体制の強化

生活に困窮している方、特に新型コロナ感染症拡大の影響を受けて生活に困窮した方の相談や食糧支援、資金貸付の相談にあたった。

< 4 > 職員の処遇と職場環境の整備

コロナ禍であったため、リモートにて愛媛県・県社協主催の研修に参加し、地域福祉や相談対応等、職員の資質の向上に努めた。

< 5 > 経営改善による自主財源の確保

コロナ禍の中で、効率的な事業運営に取り組んだ。また、事業支出の節約に努めるとともに、地域福祉活動の財源となる共同募金運動にも積極的に取り組んだ。新規事業の受託に向けて、町との協議を進めた。

Ⅲ. 事業別報告

《 1 》 法人運営事業

＜ 1 ＞ 法人運営事業

予算額	37,527,000円	主な財源	町補助金・会費・繰越金
-----	-------------	------	-------------

- ①事業の概要…理事会・評議員会の本来の役割に併せて、地域の福祉分野の各層から地域住民を代表して社協活動の推進に参画いただいております、地域における福祉課題の発掘に関する情報やその解決に向けたご提言等をいただくとともに、運営、経営面の改善等にご助言をいただき、更なる組織の機能強化を行ないます。
- ②事業の目標…取り組んでいる社協の事業・運営状況について具体的に丁寧な説明をしていきます。

◎理事会・監事会・評議員会

1 理 事 会

① 第62回(令和2年度第1回)決議の省略	
決議日	令和2年5月29日(金)
同意者	理事 8 名(8名中)
確認者	監事 2 名(2名中)
議 案	1 令和元年度事業報告について
	2 令和元年度決算報告について
	3 令和2年度第1号 資金収支補正予算について
	4 評議員選任候補者の推薦及び解任について
	5 評議員選任・解任委員会の招集について
	6 理事選任候補者の選定について
	7 評議員会の決議の省略について
	8 評議員会の提案事項について
② 第63回(令和2年度第2回)	
日 時	令和2年11月25日(水) 10:00～11:20
場 所	社協本所 3階 会議室
出席者	理事 7 名(8名中) 監事 1 名(2名中)
報 告	1 会長の職務執行状況について
	2 第6回評議員選任委員会議事録
議 案	1 令和2年度 資金収支補正予算<第2号>について
	2 就業規則の一部変更について
	3 給与規程の一部変更について
	4 評議員会の招集について
③ 第64回(令和2年度第3回)	
日 時	令和2年12月7日(月) 13:55～14:05
場 所	役場 本庁 2階 会議室
出席者	理事 7 名(8名中) 監事 1 名(2名中)
議 案	1 会長、副会長の選定について
④ 第65回(令和2年度第4回)	
日 時	令和3年3月12日(金) 9:55～11:10
場 所	社協本所 3階 会議室
出席者	理事 5 名(8名中) 監事 2 名(2名中)
報 告	1 会長の職務執行状況の報告について
議 案	1 就業規則の一部変更について
	2 育児・介護休業等規程の一部変更について
	3 令和2年度 資金収支補正予算<第3号>について
	4 令和3年度事業計画(案)について
	5 令和3年度収支予算(案)について
	6 定款の一部変更について
	7 経理規程の一部変更について
	8 理事選任候補者について
	9 評議員選任候補者の推薦及び解任について
	10 評議員選任解任委員会委員の選任について
	11 評議員選任・解任委員会の招集について
	12 評議員会の招集について

2 監事会

① 決算監査	
日時	令和2年5月18日(月) 9:30～
場所	社協本所 1階 会長室
出席者	監事 2名 (2名中)
議案	1 愛南町社会福祉協議会 監査 令和元年度事業報告/令和元年度一般会計・特別会計収支決算(財務諸表・関係証憑等)

3 評議員会

① 第49回(令和2年度第1回)決議の省略	
決議日	令和2年6月17日(水)
同意者	評議員 18名(18名中)
議案	1 令和元年度 事業報告について
	2 令和元年度 決算報告について
	3 令和2年度第1号 資金収支補正予算について
	4 理事の補欠選任について

② 第50回(令和2年度第2回)	
日時	令和2年12月8日(火) 10:00～10:35
場所	社協本所 3階 会議室
出席者	評議員 16名 (18名中)
議案	1 令和2年度 資金収支補正予算<第2号>について
	2 就業規則の一部変更について

③ 第51回(令和2年度第3回)	
日時	令和3年3月22日(月) 14:00～15:04
場所	社協本所 3階 会議室
出席者	評議員 15名 (18名中)
議案	1 就業規則の一部変更について
	2 育児・介護休業等規程の一部変更について
	3 令和2年度 資金収支補正予算<第3号>について
	4 令和3年度事業計画(案)について
	5 令和3年度収支予算(案)について
	6 定款の一部変更について
	7 経理規程の一部変更について
	8 理事の選任について

4 評議員選任・解任委員会

① 第6回	
日時	令和2年6月5日(金) 13:25～13:35
場所	社協本所 1階 会長室
出席者	委員 4名 (5名中)
議案	1 評議員の補欠選任について

② 第7回	
日時	令和3年3月16日(火) 13:20～13:30
場所	社協本所 1階 会長室
出席者	委員 4名 (5名中)
議案	1 評議員の補欠選任について

実績評価・問題点

理事会・評議員会・監事会において役員の皆様より貴重なご意見、ご提言をいただいた。今後の法人運営に活かしていき、町の社会福祉の推進に貢献していく。

◎社協会員制度(社協会費)普及状況

①事業の概要…社協は、地域において公共性の高い福祉活動を推進する非営利民間福祉団体として社会福祉法で市区町村に1ヶ所のみが認められた社会福祉法人です。地域住民に理解され、支持されることがひとつの条件であり、その証となるものが会員募集及び会費協力の取り組みです。住民全体に社協を認めていただき、社協活動を後押ししていただくべく社協会員としてご理解とご支援をお願いしていくことを趣旨として全戸会員制を推進します。

②事業の目標…会費についての使途、社協の必要性を賛同していただけるよう広報していきます。世帯会員以外の福祉関係団体会員・町外特別会員について、依頼方法を検討し、ご協力をお願いしていきます。

令和2年度実績及び年度対比表

◎個人会費

	27	28	29	30	31	2	前年比
会費(円)	3,245,000	3,201,000	3,173,000	3,145,500	3,082,800	3,044,000	98.0%
加入世帯数	6,477	6,395	6,345	6,291	6,165	6,012	98.0%
加入率	74.5	75.0	74.9	75.4	74.0	69.5	98.1%

※令和2年4月1日現在、組入り世帯数 8,330世帯

◎団体会費 8件 16,000円

公益財団法人 正光会	多機能型事業所 南生 様
チームばせ 様	
愛南町ひとり親サポートの会 withぴーす 様	
社会福祉法人 御荘福祉施設協会 様	
正木やまびこ会 様	
一本松おもちゃ図書館 あゆみくらぶ 様	
社会福祉法人 船越保育園 様	
社会福祉法人 共生福祉会 様	

実績評価・問題点

個人(世帯)会費が、ほとんど地区会計からの納入となっている。今後も人口減少と地区の組み入り世帯の減少により、個人会費の増額は難しい状況である。組み入り以外の世帯へのお願いや、団体(法人)会費、企業へのお願いを検討していく。

職員の資質の向上と職員間の連携の強化

①事業の概要…公共性の高い事業を展開する社協であり、従事する職員も常に資質の向上に心がけ、全体・分野ごとに研修会等を計画し、または県社協による各種研修会に積極的に参加し、地域福祉活動の推進役になれるよう職員の資質向上に努めます。

②事業の目標…職員の定着に向けて働きやすい職場環境改善の取り組みと、「パートタイム・有期雇用労働法」への対応を検討していきます。

実績評価・問題点

コロナ禍であったため、リモート研修に参加し、地域福祉・相談事業の充実に向けて取り組んだ。

<2>社協運営安定積立事業

予算額	58,000円	主な財源	繰越金・利息
-----	---------	------	--------

①事業の概要…必要な財源の安定的確保を図るために積立金を設置します。

②事業の目標…収益事業・事業助成金等の検討を進め、安定積立金・退職積立金を確保する。

運営安定積立金 15,320,000円(3月末残高)

実績評価・問題点

2年度も経営悪化による取崩しはなく、事業を推進することができた。新型コロナウイルス感染症や地震などの自然災害等緊急時の事業継続に備えて、積立金の積立計画が必要である。

《2》 地域福祉事業

<1>調査企画広報事業

予算額	461,000円	主な財源	補助金、共同募金
-----	----------	------	----------

①事業の概要…社協だよりの刊行、ホームページでの住民への周知。

②事業の目標…社協だよりについては、引き続き、検討会議で定期的な内容の検討を行い、住民の方に分かりやすく役に立つ紙面を作成していきます。ホームページに関しては、業者、検討班も含めて、内容等の検討を行い、見やすく分かりやすいホームページを目指します。

号	発行日	主な掲載内容	
53号	R2.7.1	新型コロナによる休業失業の生活資金	夏休みふれあい交流会募集
		H31年度 事業報告・決算	社協会費のお願い
54号	R2.10.1	赤い羽根共同募金運動	令和2年度社協会費納入のお礼
		手作りマスク作成学校へ寄付	実習生の感想
55号	R3.2.1	社協会長就任挨拶	赤い羽根共同募金運動実績報告
		民生児童委員表彰者	配食ボランティアさん募集中
		利用援助事業説明	新型コロナによる休業失業の生活資金
		まごころ銀行	社協を装った不審電話の注意

実績評価・問題点

社協だよりに関する検討委員会を設けて記事の内容・作成等に関して、その都度検討を行ない、記事の充実に努めることが出来た。今後も住民の方が分かりやすい内容または情報の提供が出来るよう、住民からの募集をしながら検討委員会を中心に行なっていきたい。

<2>福祉用具貸与事業

予算額	212,000円	主な財源	補助金、共同募金
-----	----------	------	----------

①事業の概要・・・介護保険事業に該当しない独自の事業として、ギャッジベッド・車イスの貸出を無償で行います。なお、介護保険事業を妨げないためにも、現有器資材のみで対応し補充等は行わないこととしています。

②事業の目標・・・貸出の状況管理を行い、今までのどおりの方法でいいか、今後要綱の変更など検討していきます。

福祉用具名	件数
ギャッジベッド	0台
車イス	9台

実績評価・問題点

令和2年度からギャッジベッドが老朽化しているため貸し出しをやめ、返却があり次第処分をしていく。車椅子の返却はあるがタイヤ交換が必要なもの、汚れがひどいものがあるため、点検をしながら貸し出しをしていく。

<3>マイクロバス管理運営事業

予算額	1,333,000円	主な財源	町補助金
-----	------------	------	------

①事業の概要・・・社協活動の推進ならびに社会福祉団体・関係機関及び各種団体が、住民の福祉向上・ボランティア活動等に資することを目的として、サロン・老人クラブ・社協に係る団体等に人数制限、消毒等感染防止をしながらマイクロバスを貸出ししています。

②事業の目標・・・昨年度同様にサロン・老人クラブ等が使用することが見込まれるため、感染防止を安全で快適な運行、運転手の確保に努めます。

年度	貸出数	貸出内訳数			
		町内	町外 (松山市除く)	松山市	県外 (宿毛・四万十市含む)
30	69	7	38	14	10
元	69	17	41	6	5
2	12	1	5	1	5

実績評価・問題点

令和2年3月に町から中古マイクロバスを譲渡してもらったが修理費用がかかり負担になっている。新型コロナウイルスで貸し出しが減ってきているが感染防止対策をして貸し出しができるようにしていく。

≪ 3 ≫ 地域福祉活性化事業

<1>愛南ふれあいサロン事業

予算額	1,637,000円	主な財源	共同募金、補助金
-----	------------	------	----------

①事業の概要・・・地域住民がお世話役となって、閉じこもりがちな高齢者が気軽に集い、仲間づくりや心身の健康保持、生きがいづくりに取り組む活動として町内各地に広まってきており、令和2年度も継続して立上げを支援し、地域コミュニティの強化及び小地域の助け合い・支え合いを推進します。

②事業の目標・・・サロン代表者の高齢化による後継者問題や、会員数の減少などによりサロンの継続が難しくなっています。そこで、代表者会を年に2回、視察研修を1回実施し、他のサロンの現状把握や、課題について情報共有し、今後のサロンの継続やサロンの在り方について一緒に考え支援を行っていきます。また、各サロンへ出向き、地域におけるサロンの役割や効果についても把握し、各サロンへ情報の発信を行います。

令和2年度サロン開設状況

No.	名称	地区	登録人数	実施回数	助成金額(円)
1	楽しい集い	内海(魚神山)	16 人	10	20,000
2	おーい元気かーい	御荘(馬場)	23 人	10	20,000
3	菊川ふれあいサロン	御荘(菊川)	11 人	6	12,000
4	菊川愛あいサロン	御荘(菊川)	11 人	0	0
5	長崎サロン	御荘(長崎)	21 人	10	20,000
6	僧都・山出ふれあいサロン	城辺(僧都)	22 人	4	8,000
7	さくらサロン	城辺(久良)	14 人	3	6,000
8	太陽サロン	城辺(久良)	12 人	6	12,000
9	やすらぎサロン	城辺(久良)	12 人	7	14,000
10	十人会	城辺(岩水)	11 人	9	18,000
11	ひだまりの会	城辺(土居)	10 人	0	0
12	にこにこサークル	城辺(深浦)	34 人	10	20,000
13	カトレア会	城辺(中原)	13 人	16	20,000
14	なごみ会	城辺(岩水)	14 人	6	12,000
15	石井手二十日会	城辺(石井手)	14 人	0	0
16	鳥越サロン	城辺(鳥越)	25 人	6	12,000
17	サロン南天	城辺(中町)	19 人	5	10,000
18	サロンふるつき	城辺(古月)	12 人	5	10,000
19	敦盛もぐもぐサロン	城辺(敦盛)	17 人	2	4,000
20	サロン・さくら	一本松(中川)	17 人	8	16,000
21	サロン・みなみ	一本松(増田)	14 人	4	8,000
22	サロン・ささな	一本松(正木)	22 人	0	0
23	サロン・うみ	一本松(満倉)	15 人	12	20,000
24	一本松サロンなでしこ	一本松(一本松)	19 人	6	12,000
25	小山サロン松尾	一本松(小山)	13 人	6	12,000
26	弓古会	一本松(広見)	18 人	1	2,000
27	中泊ふれあいサロン	西海(中泊)	20 人	8	16,000
28	船越ふれあいサロン	西海(船越)	28 人	8	16,000
29	福浦ごきげんクラブ	西海(福浦)	28 人	1	2,000
30	しぐらサロン	西海(麦ヶ浦)	10 人	6	12,000
31	手まりの会	西海(内泊)	19 人	6	12,000

令和2年度愛南ふれあいサロン全体事業

事業名	開催日	参加者	内容
一本松地域 サロン代表者会	R3.2.22	代表者 6名	①コロナ禍でのサロン活動について ・町内各サロンの活動状況 ・情報交換会 ②愛南ふれあいサロン助成金について ③ほっとサポート愛南事業について
内海・御荘地域 サロン代表者会	R3.2.25	代表者 2名	
城辺地域 サロン代表者会	R3.3.3	代表者 10名	
西海地域 サロン代表者会	R3.3.4	代表者 5名	

実績評価・問題点	令和2年度 愛南町ふれあいサロン数 31サロン(新規立ち上げサロン 0・休会サロン 3サロン) サロンへの訪問 30サロン 新型コロナウイルスの影響を受け、4月5月は活動自粛の依頼を行った。その後、各サロン調査を行い、活動休止中～活動再開までの現状や課題の把握を行った。 また、新型コロナウイルスの影響を受け、今年度は各地域ごとに代表者会を開催し町内サロンの活動報告や情報交換を行い、コロナ禍での活動の不安や疑問を解消出来た。しかし、コロナ禍でサロンを開催しづらい状況から、3サロン休会となった。今後は、サロン立上げのため、住民へサロンの周知が必要である。
----------	---

<2>福祉教育推進事業

予算額	795,000	主な財源	補助金、共同募金
-----	---------	------	----------

①事業の概要・・・福祉教育ハンドブックをもとに、町内の小中学校、高校を対象に、地域で支え合って暮らしていること、助け合うことの大切さを共に学び、より良い地域社会を構築する姿勢を育てることを目的とします。

②事業の目標…町内の小、中学校、高校を中心に福祉教育プログラムに取り組み、思いやりや、支え合いの心を育む福祉教育を実施します。町内4法人（御荘福祉施設協会、共生福祉会、船越保育園、愛南町社協）「私の幸せ、あなたの幸せ、語り合い、つくりだす私たちの幸せ」を共通メッセージとし、連携した福祉教育を実施する。また、夏休み等を利用し、学生ボランティア体験学習を実施し、小、中、高がつながる福祉教育を実施する。
また、地域対象の福祉教育として、「ボランティア講座」や「地域の担い手養成講座」等を実施し、地域のリーダーの育成や、地域とのつながりづくりに努めます。

福祉教育実施回数推移

年 度	保育所	小学校	中学校	高校	高齢者・ 教員・町職員	合計
平成30年度	0	4	4	1	0	9
令和元年度	0	9	5	1	0	15
令和2年度	0	9	2	0	0	11

実績評価・問題点	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により休校となり、1学期に小学校、中学校での福祉教育を実施することができず、2学期に入ってからの実施となった。 体験学習では、サロンや老人クラブとの交流実施ができなかったため、「シトラスリボンで優しさを届けよう」を体験に取り入れ、児童が「福祉」を身近にとらえることができるよう工夫を行った。福祉教育のかかわりがいい学校での実施ができるよう関係作りが必要。</p>
----------	--

<3>小地域活性化事業

予算額	3,276,000	主な財源	事業収入、助成金、補助金等
-----	-----------	------	---------------

①事業の概要…小地域を単位として、公的な制度だけでは対応できない地域の課題に対して、社協と地域住民の皆さんが寄り添いながら共に考え、課題解決に向け、住民主体の「支え合いの仕組みづくり」に取り組みます。

②事業の目標…共生社会の実現に向け、地域や世代を問わず誰もが気軽に集える拠点づくりを行うと共に、現在の活動拠点への継続的支援を行います。社協が実施主体となっているご縁茶屋については、ボランティアさんや、運営委員さんとの連携を強め、より良い拠点となるよう努めます。菊川交流館についても、ボランティアさんと連携しながら地域活性化に努めます。また、生活困窮者自立支援事業と協働し個別支援・地域支援の連携を図ります。

福浦・馬瀬・下久家地域で、地域懇話会を開催し、地域ニーズの把握及び住民資源について共有を行い、住民主体の地域活動について考えることができた。

【福浦】

9月25日(金)	コロナ禍における福浦地域の現状について(電話確認) 福浦福田区長
11月12日(木)	令和2年度第1回福浦地域懇話会
12月9日(水)	福浦関係者打ち合わせ会
12月9日(水)	令和2年度第2回福浦地域懇話会
1月12日(火)	福浦地域防災学習
1月14日(木)	福浦地域防災学習
1月15日(金)	福浦地域防災学習
1月19日(火)	福浦地域防災学習
1月25日(月)	福浦地域独居訪問事業
1月30日(土)	福浦地域防災学習

コロナ禍の影響で懇話会や地域活動の休止等、なかなか活動ができない状況が続いていましたが、区長さんや民生委員、防災士さんと情報交換しながら地域活動の再開を検討していく中で「今できることをやろう」「独居訪問も高齢者は楽しみに待っている」等の意見が出たことから感染防止に努めながら独居訪問や防災学習を実施した。

防災学習は組ごとに分け複数回実施し、マップづくりや災害に学習を行い、マップづくりでは自分たちの地域を地図に落とし込み可視化することで、地域の危険箇所だけでなく、一人暮らしや空き家が多い等地域の現状を知ることができ、災害に強い地域づくりのためには日頃から顔を見える関係づくりが大切であることが分かった。つながりが途切れないように、今後も防災学習や懇話会等を実施し、地域のことについてみんなが考える機会(集まりの場)づくりを実施していく必要がある。

【馬瀬】

8月21日(金)	チームばせ聞き取り調査
10月18日(日)	チームばせ打ち合わせ会
10月23日(金)	チームばせ打ち合わせ会
11月6日(金)	馬瀬地域関係者打ち合わせ会
11月13日(金)	チームばせ打ち合わせ会
12月6日(金)	馬瀬地域防災学習
12月17日(木)	馬瀬地域介護予防教室(運動)
12月20日(日)	馬瀬地域防災学習・関係者打ち合わせ会
2月5日(金)	チームばせ山田代表と打ち合わせ会
2月15日(月)	チームばせ山田代表と打ち合わせ会
2月21日(日)	馬瀬地域懇話会(地図マッピング)

「チームばせ」ではこれまで様々な地域活動を行ってきましたが、コロナ禍ではカフェの開設やイベントが難しくどのように活動を行ったらよいかという相談があり、生活支援コーディネーターも一緒に考える機会を数回持ちました。その中で、福浦での防災の取り組みを知り、馬瀬地域でも防災の観点から地域について考える機会を持ってみてはという意見から防災学習に取り組みました。組ごとに数日に分かれて防災学習を実施し、住民同士が顔を合わせ地域について考える機会を設けることができました。防災やカフェ、イベント等きっかけはどんなことでも良いので住民が集まる機会を作ること、地域のことや地域に暮らす人に関心を持ち自助、互助力を向上させていきたいと考えます。馬瀬地域は「チームばせ」を中心として地域が活性化させてきています。こうした住民主体の活動を生活支援コーディネーターとして後方支援していくことが必要である。

【下久家】

9月29日(火)	下久家の現状について聞き取り(電話確認) 山下区長
12月4日(金)	下久家地域懇話会
12月16日(水)	下久家模擬サロン実施打ち合わせ会
2月9日(火)	下久家模擬サロン打ち合わせ会

高齢化が進んでいる下久家地区で(高齢化率72%)懇話会を開催しました。その中で、高齢化が進み地域の担い手が(若手)いないことは仕方ないことだが、地域に暮らす人たちが少しでも楽しみを持ち、この地域で暮らし続けるために、以前のようなサロンがあったら良いとの意見がでた。しかし、代表者になる人がいないという課題もあり生活支援コーディネーターが区長さんや民生委員さんと協働し「模擬サロン」を企画しました。しかし、開催直前にコロナの影響により開催中止となり、令和2年度は模擬サロンを実施することができなかったが、「模擬サロン」を実施できるよう働きかけを継続していく必要がある。

・愛南町地域福祉活動計画

第1期計画(5年間)の4年目。コロナ禍で地域での懇話会が難しい状況であり、区長・民生児童委員へのアンケートを基にアドバイザーの山梨県立大学の高木先生より意見を頂きながら、社協の事業・活動内容等を振り返り、地域福祉活動計画の評価を行なった。

【取組内容】

R2.5.19	区長・民生委員へアンケートの実施	発送211/回収163 回答率77.3%
R3.1.21.	リモート会議(高木先生)	地域福祉活動計画評価について
R3.3.24.	評価委員10名へ書面にて報告	地域福祉活動計画評価の送付

実績評価・問題点	コロナ禍であり、評価委員会ではできませんでしたが、アンケートを基に住民(区長・民生委員)から意見を聞くことで第1期地域福祉活動計画を評価と社会福祉協議会の4年間の地域活動への取組みについて見直すことができました。令和3年度は、第2期地域福祉活動計画策定の年なので次期計画へ向けて取り組んでいきます。
----------	---

ご縁茶屋の実績

月	回数	内容	売り上げ(円)
4月		コロナウイルス感染症予防の為、休み	
5月		〃	
6月		〃	
7月		〃	
8月		〃	
9月		〃	
10月	3回	テイクアウト(お弁当/お好み焼き)	130,000
11月	3回	テイクアウト(お弁当/お好み焼き)	125,200
12月	3回	テイクアウト(お弁当/お好み焼き)	133,150
1月	1回	テイクアウト(お好み焼き)	40,600
2月		コロナウイルス感染症予防の為、休み	
3月		〃	
合計			428,950

その他の拠点

拠点名	代表者	スタッフ	備考
やまびこキッチン	山本 信江	6名	10月、11月キッチン開設
ふれあいカフェく	河野 とき子	5名	9月～再開、1月～休止
おいでな～し菊川	尾崎 通子	5名	コロナウイルス感染症予防の為、休み

実績評価・問題点

「食」を通じた地域の拠点では、不特定多数の方を対象とするため、休みとした。感染拡大が落ち着き、9月ごろからカフェを再開したり、テイクアウトのみ行う等、感染予防対策を取りながら活動を再開させた。また、拠点の開催ができない期間は、マスクボランティアや児童や地域を対象とした事業を行うなど地域活動を継続することができた。

《4》 ボランティア活動振興事業

＜1＞ほっとサポート愛南事業	予算額	580,000円	主な財源	補助金、共同募金
----------------	-----	----------	------	----------

①事業の概要・・・高齢者・障害者に対し援助を行いたい方(協力会員)と援助を受けたい方(利用会員)から成る組織を作り、地域においてその会員同士が相互援助活動を行うことを支援し、地域福祉の向上を図ります。

②事業の目標・・・現在協力会員が13名となっていますが、利用依頼に対しマッチングが難しい地域もあることから、協力会員の養成を実施し協力会員の増員に取り組みマッチングができるよう体制を整えます。また、高齢化率の高い地域や過疎地におけるニーズ調査を実施し、必要な場合は地域での協力会員養成を行い地域内マッチングができるよう努めます。

活動状況

延べ利用回数	640 回
延べ利用時間	602 時間
活動内容(主なもの)	掃除、買い物、調理、通院の付き添い、草引き

実績評価・問題点

協力会員数4名 利用会員数156名
個別ニーズに対応したマッチングが出来ており、利用会員と協力会員との関係も良好に行えている。しかし、協力会員数の減少や高齢化のため事業自体の見直しを行い、令和3年度より活動内容に変更があるため、協力会員、利用会員、地域での事業説明や周知を行う必要がある。

＜2＞ボランティア市民活動支援センター事業	予算額	1,334,000円	主な財源	補助金、共同募金
-----------------------	-----	------------	------	----------

①事業の概要・・・多様化する地域・生活課題への取り組み・ボランティア講座の開催や地域の担い手の養成、各種ボランティア・NPO団体に対し助成金情報の発信を行います。
また、活動助成、ボランティア保険への加入等を行います。

②事業の目標…地域の担い手養成講座等を継続的に実施し、ボランティアの育成を行います。また、ボランティア団体の活動がわかるよう広報啓発に努めます。南予地域ボランティア交流会の実施に向け、ボランティア連絡会と連携強化を図ります。

[1]町内ボランティア活動団体支援事業

	加入団体名	主な活動内容	会員数
1	子育て支援グループ「こぶたたんぽぽポケットとんぼ」	子育て支援	15
2	蓮乗寺を綺麗にしたい会「川遊会」	河川・環境美化活動	7
3	一本松おもちゃ図書館「あゆみくらぶ」	障害者交流、おもちゃ活動	18
4	傾聴ボランティア「お話し相手おひさま」	傾聴ボランティア・学習会	14
5	松ぼっくり	障害者生活支援、子育て支援	25
6	ハート暖め隊	障害者・高齢者支援	11
7	ふれあい楽遊快	小地域活性化	5
8	BSクラブサポート隊	BSクラブの活動支援と地域支援補助	28
9	パソコン倶楽部	パソコン研修	17
10	てんとうむしの会	点訳	11

[2]各種講座の開催

夏休みふれあい講座

開催日	内 容	参加者	対象	
	こけ玉づくり講座	町内の小学生同士で、こけ玉づくりを通じて楽しく交流をした。	3名	町内小学生5年生～6年生

[3]マスクづくりボランティア

愛南町PTA連合会からの依頼により、地域のボランティアの協力を得てマスク1,500枚を町内小中学校へ配布

【制作協力団体】

1	ご縁茶屋サポート会	8	サロン・さくら
2	楽遊快	9	しぐらサロン
3	やまびこ会	10	楽しい集い
4	おいでな～し菊川	11	長崎サロン
5	お～い元気か～い	12	にこにこサークル
6	カトレアサロン	13	福浦ごきげんクラブ
7	サロン・うみ	14	船越ふれあいサロン

実績評価・問題点	地域の担い手講座、夏休み交流、夏休みボランティア体験学習など各種講座は、コロナの影響により休止となった。
----------	--

<3>生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター事業) (町受託事業)

予算額	3,545,000円	主な財源	町受託金
-----	------------	------	------

①事業の概要…(町受託事業)

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域の高齢者支援のニーズと地域資源の状況を把握した上で、地域における取組を総合的に支援・推進する。

- ・担い手の育成や、住民主体の活動の強化
- ・関係機関とのネットワークづくり
- ・地域のニーズと地域資源のマッチング、社会資源の開発

②事業の目標…平成29年度モデル実施地域(福浦湾)、地域福祉活動小地域計画実施地区(町内5ヶ所)、ふれあいサロン等小地域を中心として、住民主体の取り組みを支援すると共に、高齢者のニーズ把握に努め課題解決に向けた取り組みを実施します。県域での研修の参加や、南予地区での研修などに積極的に参加し、他の市町の取組も参考にしながら自分の地域に合った取り組みを考え実施していきます。また、自分たちで取り組みを行なっている地域にも関わりを持ちながら支援を行なっていきます。

小地域活性化事業や地域の担い手養成講座の社協事業と連携しながら、事業に取り組んだ。29年度モデル地区(福浦湾)での自主的な活動が継続して行えるよう関わりを持ち、座談会やアンケートなどでニーズの把握を行い、事業の実施に向けて取り組んだ。

- (1)住民参加の促進及び生活支援ニーズの把握
- (2)地区における自主活動の育成及び支援、並びに担い手育成

【福浦】

懇話会2回／打ち合わせ会3回／防災学習会5回／独居訪問

コロナ禍であっても「今」できることを地域住民と一緒に考え、感染予防対策を取りながら、防災学習や独居訪問などを実施した。

【馬瀬】

懇話会1回／打ち合わせ会7回／防災学習1回／介護予防教室1回

「チームばせ」の活動支援を行うとともに、防災学習やカフェの開催等、地域住民が顔を合わせ地域のことを考える機会を設けることができた。

【下久家】

懇話会1回／打ち合わせ会2回

高齢化が進んでいる下久家地区では、地域で安心して暮らし続けるために何が必要か等懇話会で話し合うことができサロン復活に向け「模擬サロン」を企画することができた。
コロナの影響で模擬サロンを開催することはできなかったが、令和3年度も引き続き支援を行う。

【ニーズ調査】

6月2日(火)	菊川愛あいサロン聞き取り調査、アンケート調査
6月3日(水)	お〜い元気か〜い聞き取り調査
6月4日(木)	ふれあいカフェくう聞き取り調査
6月4日(木)	僧都・山出ふれあいサロン聞き取り調査
6月4日(木)	サロン・みなみ聞き取り調査
6月5日(金)	太陽サロン・やすらぎサロン・さくらサロン聞き取り調査
6月9日(火)	ひだまりの会聞き取り調査
6月9日(火)	やまびこ会(やまびこキッチン)聞き取り調査
6月9日(火)	福浦ごきげんクラブ・しぐらサロン聞き取り調査
6月10日(水)	長崎サロン聞き取り調査・アンケート調査
6月10日(水)	一本松サロンなでしこ聞き取り調査
6月10日(水)	小山サロン松尾聞き取り調査
6月11日(木)	なごみ会・十人会・敦盛もぐもぐサロン聞き取り調査
6月11日(木)	古月サロン聞き取り調査・アンケート調査
6月12日(金)	サロン・うみ聞き取り調査
6月15日(月)	サロン南天聞き取り調査
6月15日(月)	にこにこサークル聞き取り調査・アンケート調査
6月17日(水)	鳥越サロン、石井手二十日会聞き取り調査
6月23日(火)	サロン・さくら聞き取り調査
6月25日(木)	サロン・ささな聞き取り調査
7月1日(水)	弓古会聞き取り調査
7月6日(月)	おいでな〜し菊川聞き取り調査
7月9日(木)	お〜い元気か〜い聞き取り調査
7月9日(木)	長崎サロン聞き取り調査
7月10日(金)	カトレアサロン聞き取り調査
7月13日(月)	船越サロン聞き取り調査

コロナ禍の中で、地域のコミュニティはどのように変化しているのか、現状の把握と今地域に必要と感じていることなどニーズ把握を行い、今後の地域福祉活動に反映していくことを目的に聞き取り調査を実施した。
この調査を通じ、改めて地域の現状や課題など地域アセスメントを行い地域カルテを作成することができました。
コロナ禍においても特に困ったことはなかったと話す地域では普段から地域で互いを見守り支え合う関係が構築されていることがわかりました。また、大人数で集まることはできなかったが、地域内に小さなグループがいくつもあり、そのグループを把握しつなげる「つなぎ役」(地域リーダー)がいることがわかりました。

【アンケート調査】

災害時対応訓練、地域づくり、拠点づくり等地域での住民活動について、どのくらい関心があるかを知るために、行政協力員、副行政協力員へアンケート調査を実施した。

(調査項目)

- ①あなたの地域で今後社会福祉協議会と協働で「災害時対応訓練」を実施したいと思いませんか。

②あなたの地域で今後社会福祉協議会と協働し「地域の支え合い」について考える懇話会や住民交流会、住民活動をしたと思いますか。

③あなたの地域で今後社会福祉協議会と協働し、集会所や空き家を活用し、高齢者が気軽に集うことができる「ふれあいサロン」や「食を通じた地域の拠点」を立ち上げたいと思いますか。

地域	送付数	返却数	回収率	①			②			③		
				はい	いいえ	未記入	はい	いいえ	未記入	はい	いいえ	未記入
内海地域	8	7	88%	5	2		2	3	1	1	5	1
御荘地域	35	24	69%	18	6		18	6		18	6	
城辺地域	60	38	63%	19	18	1	17	19	1	14	22	2
一本松地域	8	5	63%	22	2	1	3	2		2	3	
西海地域	16	12	75%	6	6		6	6		2	10	
地域未記入		2		1	1		1	1		1	1	
合計	127	86	68%	51	35	2	47	37	2	38	47	3

アンケート回収率68%、調査結果については「災害」への関心が高く災害時対応訓練を実施したいという地区が多かった。
 地域での支え合い活動についても必要と感じているほうが多かった。
 拠点づくりについては、地域のリーダーがいないという理由や自分たちの地域だけでは難しいという記述もあったが他の地域と協働で実施したいな積極的な意見があった。
 この結果から、サロンの立ち上げ、拠点づくりなど地域活動など社協の地域福祉事業を実施する地域の選定を行うもとなるデータができた。
 また、関心の高い地域だけでなく取り組みが難しいと感じている地域への分析支援を行っていく必要がある。

(3) 関係機関とのネットワーク

地域包括支援センターとの打ち合わせ9回

愛南町生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体3回

包括支援センター担当者や、地区担当者等関係機関との打ち合わせ会や、愛南町生活支援・介護予防サービス等提供主体愛南町生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体への出席等関係機関とのネットワークづくりに努めることができた。

(4) 関係者とのネットワーク

老人クラブや、サロン、地域リーダー等と年29回の打ち合わせを実施し、地域で活躍するボランティア団体や、住民活動団体等と連携を密にし、各関係機関とのネットワークづくりができた。

実績評価・問題点	コロナ禍での地域での活動の把握や、ニーズ把握及び新たなつながりづくりについて各関係者への聞き取りを行うことができ、ネットワークづくり、地域のニーズの把握及び自主活動の育成、並びに担い手の育成に努めることができた。
----------	--

《 5 》 食の自立支援事業（配食サービス事業）

予算額	1340,000円	主な財源	町受託金
-----	-----------	------	------

①事業の概要…一人暮らしの高齢者等で、食生活に支障のある方に対して、ボランティアの協力を得て昼食弁当の配食サービスをおこなうことにより、高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう支援し、併せて安否確認を行うものです。

月・火・木・金 の週4回（昼食分のみボランティアの協力により配食）
 弁当は業者委託 1食600円（利用者負担金 450円）

②事業の目標…今後も配食方法をボランティアさんと検討をしていきます。

年度別配食数

年度	単価	内海	御荘	城辺	一本松	西海	計
30年度	450	0	932	389	0	88	1,409
元年度	450	0	826	483	0	81	1,390
2年度	450	0	628	525	0	96	1,249

実績評価・問題点	現在、配食ボランティアさんが減少しているため、再度、広報等でボランティアの募集を呼びかけていく。
----------	--

《 6 》心配ごと相談事業

予算額	645,000円	主な財源	町受託金
-----	----------	------	------

- ①事業の概要…各地域に毎月1回、住民の皆さんの心配ごとや困りごとを気軽に相談できる場所を開設します。
- ②事業の目標…住民の方に気軽に相談できるよう配慮する。

[1]心配ごと相談事業(場所:各地区 公民館等) (町受託事業)

- ① 職員が相談員として地域に関する相談や、行政に関する相談を受け、関係機関への紹介を行い解決への支援を行いました。
- ② 事業実績

開設日	年度	開催回数(回)	相談者数(名)	平均相談者数	備考
毎月 第2水曜日	30年度	12	2	0.2	
	元年度	11	3	0.3	
	2年度	10	6	0.6	4・5月コロナウイルス感染症予防の為、中止

③ 主な相談内容(重複)

相談内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
病気や健康、障害のこと															
住まいについて															
収入・生活費のこと															
賃貸やローンの支払いのこと															
税金や公共料金等の支払いについて															
債務について															
仕事探し、就職について															
仕事上の不安やトラブル															
地域との関係について															
家族との関係について															
子育てのこと															
介護のこと															
ひきこり・不登校															
DV・虐待															
その他															
30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
元年度	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
2年度	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1

[2]無料法律相談事業(場所:御荘老人福祉センター) (町受託事業)

- ①事業の概要…法律に関する様々な問題や困りごとを弁護士・司法書士が適切に対応します。相談料は無料
- ②事業の目標…多くの方に利用してもらうよう周知を図り、法的トラブルを解決する。

- ① 町の補助金と、共同募金の配分金を活用し、月に1回の法律相談(偶数月:司法書士、奇数月:弁護士)を開催し相談を受け、複雑な社会情勢や経済状況の中で、住民のあらゆる生活、福祉の問題について、適切な助言や法的な解決が必要な問題への対応を行なった。

② 司法書士相談実績

開設日	年度	開催回数(回)	相談者数(名)	平均相談者数	相談員
4・6・8・10・12・2月 第3木曜 14:00~16:00	30年度	6	23	3.8	司法書士 増本 園
	元年度	6	18	3.0	
	2年度	5	16	3.2	

※令和2年度6月は相談者がいないため中止。

③ 司法書士相談内容 (件数)

	一般民事				家庭		金銭		その他	計
	借家・借	土地・隣・相	人連回・帯収負保債証	その他	相続	その他	多重債務	その他	その他	
30年度	0	1	3	5	4	4	2	3	1	23
元年度	1	4	0	1	4	6	1	1	0	18
2年度	2	1	0	0	3	1	6	0	3	16

④ 弁護士相談実績(1回の開催につき6件対応)

開設日	年度	開催回数(回)	相談者数(名)	平均相談者数	相談員
5・7・9・11・1・3月 第3火曜 14:00~16:00	30年度	6	28	4.7	弁護士 松本 宏
	元年度	4	18	4.5	
	2年度	6	28	4.7	

⑤ 弁護士相談内容

	一般民事				家庭		金銭		その他	計
	借家・ 借地・ 土地・ 隣	負証連 取債人保 回・保	その他	相続	その他	多 務重 債	その他	その他		
30年度	1	4	3	6	5	5	1	2	1	28
元年度	1	0	0	2	5	1	4	3	2	18
2年度	2	6	0	4	9	2	0	1	4	28

実績評価・問題点	法律相談は広報・防災無線等で毎回周知し住民のあらゆる問題の解決へ繋がった。心配ごと相談については、昨年度同様に利用が低い状況である。法律相談の利用者については認知症高齢者の相談が増え、相談時の支援、関係機関との連携が必要である。
----------	--

《 7 》 共同募金配分事業

＜1＞ 一般配分事業

予算額	4,092,000円	主な財源	共同募金配分金、繰越金
-----	------------	------	-------------

①事業の概要・・・共同募金運動の啓発・推進と配分事業

②事業の目標・・・推進と地域住民の要望と時代に即した配分計画を立て実施します。

主な配分事業

事業名	内容
1 老人福祉活動	
1 福祉杖支給事業	高齢者等への福祉杖の支給
2 三世代交流事業	コロナ感染症のため中止
2 ふれあいサロン事業	サロン団体へ助成・育成活動
2 障害者・児福祉活動	
1 手をつなぐ育成会助成	団体（南宇和郡手をつなぐ育成会）への活動助成→コロナ過活動自粛のため助成なし
2 障害者福祉活動助成	団体（愛南町身体障害者福祉協議会）への活動助成
3 児童・青少年福祉活動	
1 里親普及事業助成	団体（南予地区里親会）への活動助成→コロナ過活動自粛のため助成なし
2 福祉教育推進事業	小学生・中学生への福祉教育の実施
4 母子・父子福祉活動	
1 母子家庭小学校卒業児童激励事業	母子・父子家庭の児童に対して小学校卒業時に図書カードを贈呈
5 福祉育成・助成事業	
1 民協活動助成	民生児童委員協議会への活動助成
2 見守り活動推進事業	民協各支部で独居訪問に関連する物品や花の配布等計画案を立て見守り活動を推進
3 広報・啓発	社協だより・ホームページ
6 ボランティア活動育成事業	
1 町ボランティア活動助成	町内のボランティア団体への活動助成
2 小地域活性化事業	拠点づくり
7 共同募金運動推進事業	
1 募金運動資材の整備	啓発活動

＜2＞ 特別配分事業

予算額	300,000円	主な財源	共同募金配分金
-----	----------	------	---------

「地域から孤立をなくそう」特別事業 30万円

＜3＞ 共同募金運動啓発・推進

目標達成率	目標額	3,843,000 円	実績額	5,056,052 円	達成率	131.6 %
-------	-----	-------------	-----	-------------	-----	---------

- ・戸別募金、職域募金、学校募金、大口募金
- ・ゆらり内海へガチャポン（缶バッジ）を設置売上の全額を募金
- ・社協本所に赤い羽根自動販売機（伊藤園）を設置し、売上の一部を募金

実績評価・問題点	一般配分事業・特別配分事業ともに、社協の地域福祉活動に支出・活用し、地域や団体、あるいは住民の方への取り組みを行うことが出来た。しかし、コロナウィルス感染拡大の影響に伴い、予定していた事業が実施出来ないものもあった。共同募金運動についてはコロナウィルスの関係で目標額の設定を低くしていたが経済環境が厳しい中、各種募金でご協力をいただき、例年並みの500万円を超える額が集まった。ただ、実績額は年々減額になっているので、広報・周知方法の検討、新しいお願い先を開拓していくなど、募金実績を上げるような取り組みが必要となってきた。
----------	--

《 8 》総合相談支援事業（くらしの相談室）

＜1＞福祉サービス利用援助事業 予算額 513,000円 主な財源 県社協受託金、利用料

①事業の概要…自宅での暮らしの中で、自分の判断能力に不安を感じている認知症高齢者、知的障害者、精神障害者の方などを、できる限り地域で安心して自立した生活を送れるようお手伝いする事業が「福祉サービス利用援助事業」です。福祉サービスの利用やそれに伴う日常的な金銭管理などをお手伝いします。

②事業の目標…ご本人が地域で安心して暮らせるように、関係機関と連携を取りながら支援していきます。社協だより等で事業を周知し円滑に行えるようにしていきます。また、生活支援員が不足することが無いよう確保に努めます。

利用状況

年度	利用者数	生活支援員数
30年度	8名	3名
元年度	9名	3名
R2年度	6名	3名

・主な支援内容 日常的な金銭管理

実績評価・問題点	新規1名、終了2名、問い合わせ・利用相談14件。利用者の生活状況に合わせ、関係機関と連携し、利用者が安心して生活できるように支援した。生活支援員は現在のところ不足はしていないが、確保に努める。本事業の利用希望者が増えてきているが、その生活課題は複雑化しており、困難事例もあり、十分なアセスメント、関係機関との密な連携が必要である。
----------	---

＜2＞生活福祉資金貸付事業 予算額 1,392,250円 主な財源 県社協受託金

①事業の概要…低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯の生活を経済的に支え、安定した生活を送れるよう自立を支援します。

②事業の目標…貸付だけでなく家計相談も取り入れながら適切な対応を行います。また、複合的な課題も解決できるよう生活困窮者自立相談支援事業と連携していきます。

① 令和2年度貸付件数

資金種類	福祉資金	緊急小口資金	教育支援資金	総合支援資金	計
相談件数(重複)	7	51	4	0	62
貸付件数	3	17	0	0	20
貸付金額(円)	447,300	1,078,000	0	0	1,525,300

実績評価・問題点	資金の貸付により、一時的な困りごとや自立更生のため支援することができました。また、生活保護の申請による生活費のつなぎ資金の貸付は8件。償還については順調に行われている。
----------	--

＜3＞生活福祉資金貸付事業(コロナウイルス特例貸付)

予算額 2,200,000円 主な財源 県社協受託金

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置である緊急小口資金等の特例貸付

・緊急小口資金(20万円) ・総合支援資金(単身世帯:45万円/2人以上世帯:60万円)×3ヶ月

① 令和2年3月25日(開始)～令和3年3月31日

資金種類	緊急小口資金	総合支援資金	総合支援資金(延長)	総合支援資金(再延長)	合計
申請件数	76	46	27	14	163
申請金額(円)	14,350,000	24,300,000	14,100,000	7,350,000	60,100,000

実績評価・問題点	コロナウイルスの影響を受け収入の減少した世帯へ、資金の貸し付けすることで緊急かつ一時的な生計維持することにつながりました。申請期限は令和3年6月30日までの予定です。今後、償還の相談等増える見込みである。
----------	--

<4>生活困窮者自立相談支援事業

予算額	4,505,000円	主な財源	県受託金
-----	------------	------	------

①事業の概要…本事業は、生活困窮者が抱える多様で複合的な問題につき、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、生活困窮者に対する支援の種類及び内容等を記載した計画の作成、生活困窮者に対するさまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とした事業です。

②事業の目標…役場各課や関係機関と連携して支援していきます。また、関係機関へ制度の啓発を行い利用者の早期把握に努めます。

相談実績

	相談件数(新規)	対象者数	プラン(再)件数	備考
H.30	20件	3名	4件	
R元	15件	1名	4件	
R2	101件	3名	2件	コロナ特例貸付の相談含む

実績評価・問題点 支援に必要な関係機関と連携した支援調整会議をすることで、福祉以外の分野でも情報を共有することができた。また、令和2年度はコロナウイルス特例貸付の相談件数が大幅に増えた。

<5>家計改善支援事業

予算額	2,403,000円	主な財源	県受託金
-----	------------	------	------

①事業の概要…家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出したうえで、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行うことにより、相談者自身の家計を管理する力を高め、早期に生活が再生されることを支援します。

②事業の目標…家計に課題のある方に対し、信頼関係を構築しながら、相談者自身が家計の状況を理解し、家計管理に向けて前向きに取り組めるように支援します。また、必要に応じて、債務整理や専門的な対応が求められる場合は、行政や弁護士・司法書士等の関係機関と連携していきます。

支援実績

	相談件数	対象者数	プラン件数	備考
H.30	2件	2件	3件	終結1件
R元	1件	1件	4件	
R2	2件	3件	3件	終結2件

実績評価・問題点 新規利用2件。終結2件。自立相談支援事業と連携して支援を行っており、相談者と一緒に家計の「見える化」を図り、家計改善に向けてアドバイスをした。利用者だけでなく、家族の収支も把握し、世帯全体の家計の改善を支援した。利用者がレシートや家計簿の記入などで収支状況を把握し自分で家計を管理しようという意識が高まり、就労して少しずつ貯蓄をするようになった。利用対象者は今現在少ないが、今後はコロナウイルス感染拡大の影響で利用される方が増えるのではないかと考えられる。

<6>生活困窮者・被保護者就労準備支援事業

予算額	5,076,000円	主な財源	県受託金
-----	------------	------	------

①事業の概要…生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安があるなどの理由で就労に向けた準備が整っていない事業の利用を希望する方(一定の要件あり)を対象に、日常生活での自立、社会生活での自立、就労での自立を目指し、利用者に応じて支援プログラムや期間を決めて、仕事に就く上で必要な訓練等を行う事業です。

②事業の目標…この事業を多くの方に利用していただけるように周知するとともに、地域の方の協力や事業所の開拓に努め、今以上に関係機関や企業と結び付き、一人でも多くの方が就労に結びつくように利用者の自立を目指して、一人一人に合ったきめ細やかな支援を行います。

支援実績

	相談件数	対象者数	プラン件数	備考
H.30	5件	4名	4件	被保護者4名
R元	1件	1名	1件	被保護者1名
R2	3件	3名	5件	被保護者2名

実績評価・問題点

新規利用者3名。利用者にあった支援プログラムを作成し、生活保護ケースワーカーや地域の事業所の方々の協力等を得て、支援を行なった。利用者1名は就職に結びついたが、定着支援が必要と思われ、他2名は体調や家庭環境等により就職に結びつきことができなかったが、就労意欲は見られてきている。相談者、利用者の生活課題は複雑化しており、関係機関との密接な連携が必要である。また、本事業が必要な方に繋がるように、引き続き、住民の方への事業の周知、それに加え利用者の掘り起こし、協力していただける企業の開拓などを行う必要がある。

<7> 法人後見事業

予算額	1,221,000円	主な財源	事業報酬、繰越金
-----	------------	------	----------

①事業の概要・・・本事業は、成年後見制度にもとづき、愛南町社会福祉協議会が法人として、家庭裁判所の選任によって成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な人を法律的に保護し支えていく事業です。

②事業の目標…ご本人が安心して暮らせるように、定期的にケース会議を行い、状況の確認と今後の対応を検討していきます。携わっている利用者が亡くなった後の対応について事前に整備をしていきます。

利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	主な支援内容
後見	4名	4名	3名	財産管理・身上監護
保佐	1名	1名	2名	財産管理・身上監護（代理権付与）
補助	1名	0名	0名	財産管理・身上監護（代理権付与）

実績評価・問題点

新規利用者1名(保佐)。コロナウィルス感染拡大の影響で施設入所をしている利用者は面会が制限されることが少なかったが、職員の方を通じて支援を行なった。また、利用者の入院時には、家族や病院、施設等関係者と連絡を密にして支援することが出来た。在宅の方へは毎月訪問し、本人に面会して生活状況を確認した。利用者の入院時や死亡時の対応については、親族の状況、支援等が不明確なケースがあり、確認が必要である。

<<9>> まごころ銀行運営事業

予算額	508,000円	主な財源	寄附金、繰越金
-----	----------	------	---------

①事業の概要・・・個人、団体の皆様より、いただいた寄附金品を預託して、地域福祉活動、災害見舞等の財源として役立てます。

②事業の目標…まごころ銀行規程に遵守した寄附金の活用をしていきます。寄付をしていただいた方の気持ちを大切に、継続して寄附をしていただけるよう、感謝の気持ちを示していきます。災害に備えて、災害緊急時のための積立金の確保を検討していきます。

寄附金の受入

No.	氏名・団体名	金額(円)	目的・使途
1	西崎 梅一様	10,000	地域福祉
2	株式会社エースワン様	9,139	地域福祉
3	愛南おれんじの会様	5,000	地域福祉
4	宇和島検察審査協会様	50,000	法人に一任
5	匿名様	30,000	法人に一任
6	愛媛南部ヤクルト販売株式会社様	738	地域福祉
合計		104,877	

災害見舞金 3件(全焼死亡1件/半焼2件)

実績評価・問題点

コロナ禍ではあったが、地域のために役立ててほしいとのあたたかい寄付があった。

<<10>> 各種団体事務の協力、援助

団体名		
①	民生児童委員協議会 本部・各支部	計6団体
②	愛媛県共同募金会愛南町支会	
③	愛南町戦没者遺族会 本部・各支部	計6団体
④	老人クラブ各支部	計5団体
⑤	愛南町軍人恩給連盟	

《 1 1 》 居宅介護等事業

1. 訪問介護事業・第1号訪問事業

予算額	58,762,000円	主な財源	介護報酬、利用者負担金、繰越金、繰入金
収入	61,307,075円	達成率	104%
支出	53,332,331円	予算、収入共に地域生活支援事業より繰入	

①事業の概要・・・自立支援の視点と介護の専門技術を持った訪問介護員（常勤職員/介護福祉士資格（国家資格）取得者 100%）が自宅に訪問し、身体介護・生活援助・通院の介助等の介護サービスを行っています。介護予防・日常生活支援総合事業における身体介護・生活援助等のサービスを行っています。

②事業の目標…

I. 遠隔地在住のパート職員の採用や出張所活用により、愛南町の隅々まで希望に合わせてできる限り訪問対応を行います。ケアプランに沿った個別援助計画に基づき、利用者をご自分でできることをできるだけ長く続けられるよう、利用者の状態の変化に留意し、職員間でその情報をきちんと伝達し合っ、適切な介護を行います。

II. 介護・総合事業合わせて 413万/月 を目標とします。

実績評価・問題点	新型コロナウイルス感染対策を行いながら事業を行った。対策の工夫として、職員の出勤体制を、本所・出張所・パート職員は本所へ立ち寄らず職員間の接触を避けるという3つの体制とし、情報の共有を図りながら職員同士の接触も控えた。利用者や家族の帰省などの情報把握、関係機関との連携を密に心掛け、感染状況に合わせて訪問が中止となるケースもあったが、必要時にはシールド着用などで予防対策をとり支援継続の対応を行った。職員・家族等の体調管理（毎日の検温）行動把握などの協力もあり、感染者がでることなく事業が継続できた。これらのことから、コロナによる減収は僅か1%という結果となった。町内の他事業所の閉鎖の影響で、新規依頼もあるが、慢性的な人員不足のため対応が厳しくなっている。が、現人員で対応可能な限りのサービスを調整し展開していく。また、介護職員募集は継続し、人材確保に努める。
----------	---

2. 障害福祉サービス事業 ※居宅介護(障害支援区分1以上)

予算額	19,157,000円	主な財源	介護給付費、繰越金
収入	21,044,517円	達成率	109.85%
支出	13,549,612円		

1. 居宅介護

①事業の概要・・・愛南町が決定した障害支援区分1以上の障害者（児）に対して、訪問介護員が自宅で、入浴・排泄及び食事等の介護や、生活等に関する相談及び助言、その他生活全般にわたる介助を行います。

2. 重度訪問介護

①事業の概要・・・重度の障害があり、常時介護を要する障害者（児）に対して、訪問介護員が自宅で、入浴・排泄及び食事等の介護や、生活全般にわたる介助、外出時における移動中の介助を行います。

3. 同行援護

①事業の概要・・・視覚障害により、移動介助が必要な障害者（児）に対して、ガイドヘルパーが外出時に移動に必要な情報の提供（代筆・代読含む）、移動・排泄及び食事の介護、その他外出に必要な介助を行います。

②事業の目標…

I. 利用者が希望する暮らしが続けられるよう、病気や障害状態を理解して個別の状態や生活や介護環境に合わせたサービスの提供を行います。

II. 120万円/月の目標とします。

実績評価・問題点	訪問介護同様に、新型コロナウイルス感染対策を行いながらの事業展開であった。コロナ影響により、4.5.6月は利用中止の希望などもあり利用回数が減った為、収入の伸び悩む状況が続いた。7月以降は影響が薄れ、新規依頼もあり後期で伸びがでた。新規の依頼は年間で5名で、その内、11月末で閉鎖した事業所からの移行が2名であった。また65歳となり介護保険へ移行されたケースもあった。愛南町在住の障害者の方々でサービス支援が必要なケースは相談支援事業のサービス計画が作成済みでサービスが決定しているため、今後、大幅な利用者増とはなりにくい。ただ、現状利用者で、障害から介護保険への移行者については、介護保険対応の訪問介護事業で継続した支援ができることを強みに対応していきたい。同行援護においては、資格取得を予定していた研修がコロナの影響・感染リスクを考慮して中止となっている。そのため、現状の資格取得者で対応しているが、コロナの感染状況と研修の動向を見ながら再度受講については検討し、愛南町における視覚障害者の方々の安全な外出支援が継続できるようにしていく。
----------	---

3. 地域生活支援事業（愛南町が独自で行っている事業）

予算額	620,000円	主な財源	町受託金
収入	625,000円	達成率	100.81%
支出	625,000円	625,000円/訪問入浴へ繰入	

1. 障害者訪問入浴事業

①事業の概要・・・愛南町の許可を受けた介護・介助が必要な高齢者や障害者（児）の方々の自宅に訪問し、組み立て式の浴槽を設置して、入浴介助を行います。

②事業の目標・・・

I. 介護保険利用と併用して利用できるので、両面から入浴支援を行います。

II. 60万/年 を目標としています。

2. 障害者（児）移動支援事業

①事業の概要・・・愛南町の許可を受けた外出時に移動が困難な障害者（児）に対して、ガイドヘルパーが、外出の移動支援を行います。

②事業の目標・・・

I. 利用者が安心して外出できるよう、安全な移動支援の提供と利用者を取り巻く周辺状況に気づきをもった支援を行えることを目指します。新たに1名の職員に同行援護の研修受講を行い、対応できる職員の拡充を図りました。

II. 年間10時間 2万円/年を目標とします。

実績評価・問題点	<p>1. 訪問入浴については、介護保険と併用した形で同一利用者（1名）と新規利用者（1名）により合計2名の利用者で目標達成となっている。併用利用者については、入院頻度が多いことや介護保険優先の原理から障害サービス利用につながりにくかった。新規利用者は7月から開始されている。現況の対象者は高齢者中心だが、今後、年齢にかかわらず自宅での入浴を希望される障害者の方がいる場合は対応していく。</p> <p>2. 移動支援においては、毎年依頼がある愛南町の身障旅行へのガイドを予定し予算計上していたが、コロナ対策のため予定が中止となり、収入につながらなかった。今後障害旅行が再開されるようであれば、対応していく予定としている。</p>
----------	---

《12》 居宅介護支援事業（予防プランのみ愛南町受託）

1. 居宅介護支援事業（要介護対象サービス）

予算額	27,115,000円	主な財源	居宅介護支援介護給付費、繰越金
収入	25,453,571円	達成率	90%
支出	22,817,908円		

①事業の概要・・・保険・医療・福祉等に関する知識を持った介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険を利用する介護が必要な方や家族の要望を尊重し、心身の状態や家庭の状況を考慮して、適切なサービスが利用出来るように支援します。本人とサービス事業者・その他関係者のパイプ役となり、連絡・調整や介護に関するさまざまな相談に応じます。

・介護支援専門員実務研修の実習生の受け入れをしています。

②事業の目標・・・

I. 外部研修の参加や事業所内外の事例検討会を重ね介護保険制度に添った充実した対応ができるようにします。様々な事例に対する課題解決能力の向上を目指します。

II. 212万/月を目標とします。

実績評価・問題点	<p>職員1名増員し新規の受入れ体制を整えるも、予算想定していたより新規依頼が増えなかったことが、減収の原因となった。収入回復のため、新規依頼がある場合はすべて対応している。徐々にではあるが、実績は増加傾向となっている。R3年介護保険改定において質の高いケアマネジメントの推進を図る観点から加算等の見直しが行われた。コロナ禍で外部への研修参加の機会が減ってはいるものの、これからも利用者が望む暮らしが続けられたための支援ができるよう、事業所内研修等を行い、専門性の向上を図っていく。</p>
----------	---

2. 予防給付対象サービス（愛南町受託事業）

予算額	1,200,000円	主な財源	居宅介護支援介護給付費、繰越金
収入	1,083,330円	達成率	90%
支出	1,029,950円		

①事業の概要・・・愛南町介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託契約に基づいて、要支援認定を受けた方に対して、心身の状態や家庭の状況などを聞き取り利用者本人が望む生活を確認し、介護予防サービス計画書やサービス提供表の作成や会議を行い、サービス利用による効果と課題を分析しながら、利用者自身が自立した在宅生活の継続ができるよう町包括支援センターと連携を持ち充実した支援を行います。

②事業の目標…

I. 包括支援センターと連携を取りながら、事業所内外の研修において介護保険制度に添った充実した動きができるようにします。様々な事例に対する課題解決能力の向上を目指します。

実績評価・問題点	要介護と同様に、新規依頼は全て受け入れをしている。利用者が可能な限り、自立した在宅生活が継続できるよう、医療・包括支援センター等と連携を図りながら引き続き支援を行っていく。
----------	--

《 1 3 》訪問入浴（予防）事業

予算額	16,611,000円	主な財源	介護報酬、利用者負担金、繰越金、繰入金
収入	21,830,907円	達成率	131%
支出	14,732,035円	予算、収入共に地域生活支援事業より繰入	

①事業の概要・・・介護・介助が必要な高齢者や障害者（児）の方々の自宅に訪問し、組み立て式の浴槽を設置して、入浴介助を行います。ボイラー搭載車に、組み立て式の浴槽を積み込み、スタッフ3名1チーム（看護師1名、介護職員2名）で訪問します。自宅のお部屋に約畳2畳のスペースがあれば入浴可能です。入浴を行うにあたり、医師の許可が必要です。

②事業の目標…

I. 自宅でプライバシーを守りながら、ゆったりと入浴をしていただけるよう、和やかな雰囲気づくりを心掛け、身体の保清と爽快感が実感できるようにサービスを行います。

II. 113万円/月を目標とします。

実績評価・問題点	新型コロナウイルス感染症が流行する中で、施設面会禁止等の影響により施設入所を見送ったり、施設を退所し自宅でターミナルを迎える利用者が訪問入浴を利用されており、例年の新規依頼より、多い傾向となった。新規の依頼に対して、対応可能な範囲まで対応した結果、夏場はかなり収入増につながった。入浴利用者は寝たきりの介護度4・5がほとんどの高齢者で、体調を崩したり入院によりキャンセル、最期を迎えられる事があり、冬場は収入が伸びなかった。職員不足により令和2年度2名の看護師非常勤を採用した。勤務日数の希望で、出勤日数に制限はあるものの、サービスが滞らず提供できることにつながった。コロナ禍の今、今年度同様に3年度も訪問入浴の需要があることが予測される。訪問入浴は体力のいる仕事なので職員負担に配慮しながら、新規の受け入れを行っていく。
----------	---

《 1 4 》通所介護事業

予算額	47,704,000円	主な財源	介護報酬、利用者負担金、繰越金
収入	49,611,684円	達成率	99%
支出	35,741,091円		

①事業の概要・・・愛南町内に住み、要介護・要支援の認定を受けた方が対象です。利用にあたり、送迎車で自宅とデイサービス施設の送迎を行います。デイサービス施設において、入浴・食事・排泄等の介助を行い、地域の方々との交流やレクリエーション・体操等を通して、社会的孤立の解消や、心身の機能が向上するよう支援します。

②事業の目標…

I. 地域密着型通所介護として、地域により身近な存在として事業の中に地域交流を積極的に取り入れます。通所で提供した個別の運動マニュアルなどを通して自宅でも取り組めるようにし、利用者が小さな成功体験を重ねてもらうことで、自分でできることを増やしていけるよう支援します。

II. 310万円/月を目標とします。

実績評価・問題点	<p>コロナの対策に追われた一年だったが、感染対策への意識も経験も大きく変わった年だった。感染リスクを考えて利用を控えるケースが、7月を境に減少したものの、1月まで続いた。利用者は月間400名を目標にしていたが388名だった。今後もコロナとの共存を踏まえた事業展開をしていかなければならない。地域密着型のデイであるが、コロナ影響で地域交流を見合わせている状況のため、地域との繋がりが希薄になり、利用者の精神的な活動意欲が低下する心配がある。そのため、新たな地域交流の持ち方を検討していく。感染対策を行いながら事業をすすめる中で、職員間で話し合った結果、感染を恐れて消極的になるのではなく、グループで行っていた運動やレクリエーションを減らして、中庭の畑での活動や散歩、ペダル漕ぎや歩行練習、マルチトレーナー等の個別の活動を増やす工夫をしている。個別にかかわることで会話が増え、利用者の意欲が伝わり成果が見えることで職員のモチベーションも維持できた。</p>
----------	---

《 15 》障害者相談支援事業

1. 特定相談支援事業(計画相談)

予算額	1,542,000円	主な財源	相談支援給付費、繰越金
収入	2,395,548円	達成率	197%
支出	1,432,460円		

①事業の概要・・・障害者（児）の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて支援するものです。愛南町よりサービスが必要と認められた方（受給者証発行）にサービス等利用計画の作成や、見直し（モニタリング）を行います。

②事業の目標…

I. 1名の職員配置での事業展開となるため、課内でサポート体制をとります。また、町保険福祉課や地方局地域福祉課、作業所などのサービス事業所と協力しあって利用者が、地域で自分らしく暮らしているための適切なサービスが提供できるよう計画書を作成します。

II. 6万円/月平均を目標とします。

実績評価・問題点	<p>利用者・家族が希望する暮らしが安心して出来るように利用者の希望を傾聴し、各関係機関やサービス事業所と連絡を取り合いながら、サービスの見直しを行うなどの支援を行っている。65歳になると、本人の状態に伴い介護申請を行い介護認定の結果、介護保険に移行する方がおられる。今年度、3名の方が介護認定を受けたが、2名の方は必要なサービスが介護保険になく、移行されなかった。また、計画変更等があり、サービス費の計上となり、実績増につながった。利用者の方々が安心して生活できるように、支援を行っている。新型コロナウイルスの影響で施設利用が出来なくなり、家族の負担が増えていることが課題となっているので、コロナ状況とサービス事業所の動向を確認しながら、負担軽減につながるよう対策を検討していく。</p>
----------	---

2. 一般相談支援事業(町受託事業)

予算額	4,001,000円	主な財源	町受託金、繰入金
支出	4,000,570円		

①事業の概要・・・障害者（児）とその家族の抱える様々な問題について相談に応じます。相談内容に合わせて情報の提供、専門機関の紹介、障害福祉サービスの利用につなげる支援を行います。

②事業の目標…

I. 日々の事業活動の中で、町や地方局、事業所だけでなく、医療関係者や福祉関係者、地域の方々など幅広い人々と連絡を取りあい、相談内容に応じて、適切な関係機関につなげます。

実績評価・問題点	<p>昨年度相談件数421件、今年度430件とほぼ同様の件数ではある。今年度、健康・医療に関することや、不安の解消・情緒不安定に関することなどコロナウイルスに関連した相談が、昨年40.6%に対して、今年は57.9%と多くなっている。相談者も障害者本人だけでなく、家族や医療・福祉などの関係者からの相談も多くなっており、相談内容に応じて、関係機関(行政・医療・福祉関係者等)につなげている。今後も、相談内容に応じて、関係機関と連携し、早期に適切な対応ができ、相談者の不安解消や問題解決ができるようサポートする。</p>
----------	--

《 1 6 》 「愛南町西海高齢者生活福祉センター」運営事業（町受託事業）

予算額	10,397,000円	主な財源	町受託金
支出	6,805,401円		

①事業の概要・・・入居されている高齢者にバランスのとれた食事の提供をします。

②事業の目標…入居されている高齢者に、バランスのとれた食事を滞りなく提供します。関係職員や町担当者との連携を継続して行います。

実績評価・ 問題点	入居者のリクエストを取り入れたり、バランスを考えた献立を提供することができた。また、残渣物の状況から原因を考え、工夫をしながら調理をすることで食物残渣を減らすことができた。西海支所と連携をとりながら感染対策を実施、継続できた。調理員に関しては1月末で1名退職者があったが、滞ることなく食事を提供できた。3月に調理員1名を採用したことで、人員の補充はできている。できるだけ地産地消を取り入れ、安心できる食材で調理を提供した。業者依頼していた食材の発注も、献立⇒発注・購入⇒調理⇒提供の流れを調理場との協力をしながら、一貫して行うことで、食材にかかる経費削減にもつながった。
--------------	---